

目指すべき都市像(計画書副題)一覧

資料4

目指すべき都市像(計画書副題)	理由	
健康で文化的な生活と自立・成長を目指す市民の旭川	市民全員が協力し合って自立を目指し、住みよく発展性のある街を作る、という意味をこめて。全体の分科会全てに共通するような目標だと、このように集約されるのではないのでしょうか。	大橋座長
感動を与える力を誇りに、美しい経済都市あさひかわへ	今後10年の旭川が最も注力すべき取り組みは経済力を向上させること。その競争力の源泉は感動を与える本物志向のものづくりやサービスである。特に、コンテンツが重要。加えて、豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりが市民の誇りであり、人財を呼び寄せる魅力となる。	岡田座長
輝け！未来につながる北の田園都市 旭川	旭川の基盤産業である農業の活性化(農業の拡大, 6次産業化)とUrban&Ruralな旭川の特性の伸長を目指す	松野副議長
支え合い、感動、ウェルビーイング・シティあさひかわ	支え合い＝第1・第2分科会の共通目標である地域づくりの考え方 感動＝第3・第4分科会の取り組みが目指す都市像は市民の感動を呼ぶ ウェルビーイング＝第1分科会「ウェルビーイングは私たちの生活の基盤となる」	栗田座長 塩川副座長
身近な地域でつながる安心・笑顔・ウェルビーイング・シティ	子育てしやすいまち、高齢者や障害者が安心して暮らせるまちを考えたとき、旭川という都市では、身近な地域で住民同士がつながり、支え合うことが大切である。誰もが笑顔で役割を持って暮らすことができるまちを旨とし、そのためには、身体的・精神的・社会的にも健康であることが基盤となるため総称して、ウェルビーイングという言葉を用いて目指す都市像をまとめた。	栗田座長 塩川副座長
つながり合い支え合うまち 一步をふみだすまち 旭川	子育て・教育。防災安全・産業交流においても、抜きに出来ないのが「つながり支え合う」ということである。また、どの分科会でもイノベーションを大切にしている。その為には、一步を踏み出していく力、チャレンジする力が必要である。	坂井座長
ますます進む少子高齢化社会に向け高度に集約した社会づくりを今こそ進めよう	-	重綱副座長
地域の豊かさを誇りに、安全・安心な街づくりを進めよう	-	重綱副座長
友愛の 風土にあふれ 人と大地が 躍動する 北に輝く あさひかわ	「友愛」に人々のつながり、愛 「風土」に文化、自然の意をこめ 「大地」に自然と地域 「躍動」に若人の活躍、活力ある産業・経済、を込めています	吉田副座長